

不当解雇を撤回し
安全・安心のJALを

JAL不当解雇撤回ニュース

No 009号 2011.03.23
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.phenix.or.jp/jkck/>

救援募金 お願いしま〜す!!

JAL不当解雇撤回裁判原告団・日東整分会が東日本大震災の救援活動



国民の足を守るため、即戦力となる被解雇者を職場にもどせ

3月22日、原告団は羽田空港にて、東日本大震災の救援募金を訴えました。

募金の訴えは、日本航空の再建策により、事業終了・全員解雇と闘っている航空一般労組スカイネットワーク



日東航空整備分会仲間とともに、不当解雇撤回の訴えと合わせて実施しました。

大震災という状況の中で、人や救援物資の輸送など公共性交通機関である航空会社が果たすべき役割は大きなものがあります。

しかし今、福島原発の事故もあり、外国の航空会社は運航を見合わせたり、乗り入れ空港を成田から関西空港や中部空港に変更したりしています。また日本の

航空会社で働く一部の外国人パイロットが、会社の乗務支持を拒否して帰国した結果、欠航するという事態も生まれています。

国民の足として安定的な運航を確保するには、日本人の労働者が安全運航を支える日本の航空会社でなければならないということではないでしょうか。

また、日本航空は臨時便を運航する人員を確保するために、一部路線の減便をしています。原告団や日東航空整備の仲間は即戦力です。被災者や国民の要請に応じて、万全な体制で臨時便等の運航ができるよう、被解雇者や日東整の力を活用すべきです。

